

第1回「エネルギー・原発問題」委員会

2019年3月5日(火)14:00～16:00 紀尾井カンファレンス

株式会社高島屋の鈴木会長が当委員会の座長にご就任され、事務局からは国内外の視察を踏まえた論点整理の確認や、日本のこれからのエネルギー政策を考える上での視点や他国の動向、取り組み等について報告を行いました。

事務局からの報告の後には、座長の進行のもと、主には原発と再生可能エネルギーについて活発な意見交換が行われ、原発問題を複眼的に捉える必要性や再生可能エネルギーの拡大に向けての諸課題についてなど議論を進めました。

当委員会を中心に、生団連から「国民的議論」を喚起していけるよう、今後も内外への発信に努めてまいります。



株式会社高島屋 鈴木 会長

【今後の活動の方向性(事務局案)】

- 1 「原発」「再生可能エネルギー」を中心に調査研究・議論をさらに進め、あるべきエネルギー政策を考える
- 2 国が策定する「エネルギー基本計画」の問題点を洗い出し、政官に対して強く問題提起
- 3 エネルギーの供給面に加え、需要面(省エネルギー)についても調査研究・情報共有を促進
- 4 生団連の強みである「現地現物活動」と「内外ネットワーク」を活かし、委員会を中心に報告・議論を重ね、生団連が「国民的議論」を喚起していく



【出席者からのご発言を一部抜粋】

〈エネルギー・原発について〉

- ◆ エネルギー・原発問題については様々な課題があり、複眼的に見なければならない
- ◆ 原発については、原発反対派住民と原発で就労する住民の葛藤もあるはずで、就労者への配慮も必要
- ◆ 化石燃料を用いた火力発電はCO2排出の問題もある
- ◆ エネルギー安全保障の観点から、OECD加盟国中2番目に低いエネルギー自給率についても考えるべき
- ◆ エネルギーの使い方についての提案もできればエネルギーに対する考え方は拡大するのではないかと
- ◆ 政治や行政がエネルギー・原発問題から逃げている。生団連では議論の場の拡大をしてほしい

〈東日本大震災について〉

- ◆ 東日本大震災で起きたことが徐々に風化してきている
- ◆ 3.11でどのような目に遭ったのか。未だに避難している方がいらっしゃる等の現実を皆で共有するべき

